

一般社団法人 日本多胎支援協会

Japan Multiple Births Association

第7回 通常総会 議案書

【日時】 2016年6月25日(土)18:00~18:30

【場所】 鹿児島市勤労者交流センター 第4会議室
鹿児島市中央町10番地

<次第>

- 1, 開会の言葉
- 2, 代表理事 挨拶
- 3, 議長選出・議事録署名人選出
- 4, 定数の報告
- 5, 議案
 - 第1号議案 2015年度 (第7期) 事業報告の件
 - 第2号議案 2015年度 (第7期) 収支決算報告の件
 - 第3号議案 2016年度 (第8期) 事業計画 (案) の件
 - 第4号議案 2016年度 (第8期) 収支予算 (案) の件
- 6, 議長解任
- 7, 閉会の言葉

JAMBA

一般社団法人
日本多胎支援協会
Japan Multiple Births Association

2015年度(第7期)事業報告

月	事業・活動	運営
4月	ファミリー教室チーム会議(30日・岐阜県羽島市)	
5月	ファミリー教室運営講座打合せ(30日・岡山県総社市)	
6月	NPO法人子育てひろば全国協議会総会・公開セミナー参加(7日・東京都千代田区) 第1回理事会・各事業会議(27日・埼玉県さいたま市) 第6回総会・第5回全国研修会・第2回理事会(28日・同上)	
7月	ファミリー教室運営講座(22日・岡山県総社市)	
8月	ピアサポートチーム会議(6日・大阪府大阪市)	
9月	第6回全国フォーラム打合せ(14～15日・鹿児島県鹿児島市)	・JAMBA NEWS発行 (No.45～48:4回)
10月	大津市多胎児家庭育児支援事業従事者研修会講師派遣(2日・滋賀県大津市)	・HPの更新
11月	ツインズウィーク(1～8日) ピアサポーター養成講座(4日・鹿児島県鹿児島市) 多胎家庭を地域でサポート!～子育て支援者研修会～打合せ(12日・大阪府熊取町) 日本子ども虐待防止学会学術集会参加(20～21日・新潟) 多胎ファミリー教室(28日・岡山県総社市) 大阪大学ふたごフェスティバル参加(29日・大阪府吹田市)	・情報提供 多胎家庭への地域のサークル情報・冊子情報の提供、産婦人科医への資料提供、マスコミへの情報提供
12月	情報チーム会議(19日・愛知県名古屋市)	
1月	多胎家庭を地域でサポート!～子育て支援者研修会～(15日・大分県豊後高田市) 日本双生児研究学会参加(23日東京都町田市) 各事業会議・第3回理事会(24日同上)	
2月	多胎家庭を地域でサポート!～子育て支援者研修会～(10日・大阪府熊取町) リーダー研修会(11日・宮城県仙台市) 「ツインズデーに乾杯」(22日・JAMBA設立記念日)	
3月	ファミリー教室チーム会議(28日・岐阜県羽島市)	

2015年度(第7期)収支決算報告

(2015年4月1日～2016年3月31日)

一般社団法人 日本多胎支援協会

収入の部

単位:円

項目	2015年度予算	2015年度決算	備考
会費収入			
正会員会費	200,000	210,000	10,000円×21名
賛助会員会費	215,000	199,000	団体会員11団体、多胎家庭18口(16名)、一般会員8名
会費収入小計	415,000	409,000	
助成金収入	1,000,000	1,000,000	キリン福祉財団
賛助	700,000	807,392	
資料代収入	25,000	15,000	
受取利息	200	464	
収入合計	2,140,200	2,231,856	

支出の部

項目	2015年度予算	2015年度決算	備考
I, 事業費			
旅費交通費	1,300,000	1,131,820	全国研修会、研修会等講師スタッフ、会議、虐待防止学会
通信費	80,000	56,104	全国研修会案内・メルマガ・資料他発送料
謝金	300,000	288,781	全国研修会・研修会等講師・外部委員他謝金
消耗品費	30,000	20,967	封筒、印刷用紙、プリンターインク他
会場借料	150,000	74,720	研修会場、会議室使用料
制作費	26,000	26,531	研修資料、広報パンフレット印刷代他
会議費	64,000	107,168	お茶、お弁当、茶菓子代
支払手数料	2,000	3,240	振込手数料
賃金	60,000	56,000	助成事業賃金(現地スタッフ)
雑役務費	12,000	30,050	託児費、行事保険料
租税公課	0	0	
諸会費	25,000	20,574	虐待防止学会参加費、ICOMBO会費
事業費支出小計	2,049,000	1,815,955	
II, 管理費			
旅費交通費	76,000	95,982	理事会・総会交通費・スタッフ交通費
通信費	30,000	27,588	郵送料・サーバー使用料
印刷製本費	5,000	357	コピー代
消耗品費	15,000	2,558	プリンターインク
会場借料	10,000	450	総会会場費
支払手数料	40,000	512	支払手数料
謝金	0	138,098	活動協力謝金
雑役務費	0	0	
法人住民税	22,000	22,000	兵庫県県民税
租税公課	10,000	15,600	登記変更費用他
会議費	5,000	1,196	飲物、紙コップ
備品費	10,000	0	
諸会費	12,000	12,000	ひろば全協会費
予備費	10,000	0	
管理費支出小計	245,000	316,341	
支出合計	2,294,000	2,132,296	

2015年度の収入-支出	99,560
2014年度より繰越金	1,212,180

項目	2015年度予算	2015年度決算	備考
次期繰越収支差額	1,058,380	1,311,740	

正味財産増減計算書

自 2015年4月1日 至 2016年 3月31日

単位:円

(正味財産増減の部)			
正味財産増加の部			
1	資産増加額	当期収支差額	111,134
2	負債減少額		0
		増加額合計	111,134
正味財産減少の部			
1	資産減少額		0
2	負債増加額		0
		減少額合計	0
	当期正味財産増加額(減少額)		99,560
	前期繰越正味財産額		1,212,180
	当期正味財産合計		1,311,740

貸借対照表

2016年 3月31日現在

単位:円

資産の部		負債の部	
【流動資産】		【流動負債】	
現金及び預金	1,359,412	未払法人税	22,000
		未払金	11,574
		預り金	14,098
流動資産合計	1,359,412	流動負債合計	47,672
		負債の部合計	47,672
		正味財産の部	
		【一般正味財産】	
		前期繰越正味財産	1,212,180
		当期正味財産増加額	99,560
		一般正味財産合計	1,311,740
資産の部合計	1,359,412	正味財産の部合計	1,311,740
資産合計	1,359,412	負債及び正味財産合計	1,359,412

監査報告書

一般社団法人 日本多胎支援協会
代表理事 志村 恵 様

私たち監事は、一般社団法人日本多胎支援協会の平成27年度(第7期)の事業運営及び会計事務を監査した結果、当法人の運営及び事務処理は適正になされており、事業報告書及び収支決算書は、正確であることを認めます。

平成 28 年 6 月 20 日

監 事

杉浦 祐子 

監 査 事

志村 一美 

第3号議案

2016年度(第8期)活動計画 ~~案~~

月	事業	運営
4月		
5月	ファミリー教室運営講座打合せ(2日・大阪府高槻市) エリアマネージャー会議(14日・大阪府大阪市)	
6月	事業会議・第1回理事会・第7回通常総会・(25日・鹿児島県鹿児島市) 第7回全国フォーラム(26日・同上)	
7月	ファミリー教室運営講座(1日・宮城県仙台市) 同 (4日・大阪府高槻市)	
8月		JAMBA NEWSの配信 (年4回+α)
9月		HPの全面リニューアル
10月	TWINS WEEK啓発事業 日本公衆衛生学会(26～28日大阪府 大阪市)	立ち上げ支援 情報提供
11月	↓ 大阪大学ふたごフェスティバル参加(大阪府吹田市) 第22回日本子ども虐待防止学会学術集会(25～26日大阪府大阪市)	講師派遣
12月	ファミリー教室(3日・大阪府高槻市)	
1月	日本双生児研究学会(埼玉県新座市・28日) 事業会議・第2回理事会(同上・29日)	
2月	「ツインズデーに乾杯」(22日・JAMBA設立記念日)	
3月		

その他実施
予定事業

- ・多胎家庭を地域でサポート！～子育て支援者研修会～(滋賀県彦根市で検討中)
- ・ピアサポーター養成講座 (福岡県久留米市)
- ・ファミリー教室(宮城県仙台市)

第4号議案

2016年度(第8期)収支予算案
(2016年4月1日～2017年3月31日)

一般社団法人 日本多胎支援協会

収入の部

単位:円

項目	2015年度決算	2016年度予算	備考
会費収入			
正会員会費	210,000	220,000	10,000円×22名
賛助会員会費	199,000	240,000	団体会員11、多胎会員30、一般会員8
会費収入小計	409,000	460,000	
助成金収入	1,000,000	1,000,000	キリン福祉財団
賛助	807,392	800,000	
資料代収入	15,000	25,000	全国フォーラム資料代@500×50名
受取利息	464	400	
収入合計	2,231,856	2,285,400	

支出の部

項目	2015年度決算	2016年度予算	備考
I, 事業費			
旅費交通費	1,131,820	1,375,000	全国フォーラム・研修会等講師・スタッフ、会議、打ち合わせ、学会など
通信費	56,104	50,000	全国フォーラム案内・メルマガ・資料他発送料
謝金	288,781	290,000	全国フォーラム・研修会等講師・委員謝金
会場借料	74,720	80,000	研修会場、会議室使用料
制作費	26,531	280,000	研修資料、広報パンフレット印刷代、HP更新
消耗品費	20,967	20,000	封筒・印刷用紙・プリンターインク他
会議費	107,168	100,000	お茶、弁当代
支払手数料	3,240	3,000	振込手数料
賃金	56,000	60,000	助成事業賃金(地元スタッフ等)
雑役務費	30,050	15,000	託児費・行事保険料
諸会費	35,274	35,000	ICOMBO・ひろば全協年会費、虐待防止学会参加費
事業費支出小計	1,830,655	2,308,000	
II, 管理費			
旅費交通費	95,982	100,000	理事会・総会旅費、スタッフ交通費
通信費	27,588	30,000	郵送料・サーバー使用料
謝金	138,098	170,000	活動協力謝金
会場借料	450	10,000	総会・理事会会場費
制作費	357	10,000	団体リーフレット印刷代ほか
消耗品費	2,558	10,000	プリンターインク・文房具他
会議費	1,196	5,000	茶菓子、弁当代など
支払手数料	512	1,000	支払手数料
法人住民税	22,000	22,000	兵庫県県民税
租税公課	15,600	1,000	印紙税など
予備費	0	10,000	
管理費支出小計	304,341	369,000	
支出合計	2,134,996	2,677,000	

項目	2015年度決算	2016年度予算	備考
次期繰越収支差額	1,311,740	920,140	

平成27年度 計画助成事業実施報告書

2016年4月10日

公益財団法人 キリン福祉財団 御中

(〒651-2242)

住 所 兵庫県神戸市西区井吹台東町3-2-8-202



団 体 名 一般社団法人日本多胎支援協会



代 表 者 志 村 恵

T E L 078-992-0870 F A X 078-992-0870

貴財団より助成を受けた事業について、下記の通り実施報告をいたします。

1. 事業名	多胎家庭の孤立予防のための連携型支援推進事業
2. 事業目的	多胎家庭は、適切な情報を得られず、社会的に孤立し、ともすれば虐待や育児不安に陥りがちである。その支援のために、各地域の状況に応じた、地域の子育て支援者や医療専門職と、当事者の協働による支援の方法や考え方を学ぶ機会や情報を提供し、地域での支援力の向上を図る。
3. 事業概要	上記の目的を果たすために、以下の4つの事業を行い、その遂行のために各事業チームを組織し、事業チーム会議と全体会を行った。 I「子育て支援者を対象とした多胎家庭支援研修プログラムの実施・普及事業」 II「専門職と当事者が連携した多胎ファミリー教室開催支援事業」 III「ピアサポート力向上支援事業」 IV「全国研修会」

4. 事業時期 内容	<p>I「子育て支援者を対象とした多胎家庭支援研修プログラムの実施・普及事業」</p> <p>1)「多胎家庭を地域でサポート！～子育て支援者研修会～」(2カ所) ①1月15日(大分県豊後高田市) 協力団体:NPO法人アンジュ・ママン 参加者:15名 ②2月10日(大阪府熊取町) 協力団体:NPO法人ホームビジット・とんとん 参加者:25名 2)事業チーム会議(2回) ①6月27日(埼玉県さいたま市)、②1月24日(東京都町田市)</p> <p>II「専門職と当事者が連携した多胎ファミリー教室開催支援事業」</p> <p>1)「妊娠期からの多胎ファミリー教室運営講座」7月22日(岡山県総社市) 協力団体:NPO法人きよね夢てらす子育て応援こっこ 参加者 10名 2)「妊娠期からの多胎ファミリー教室」11月28日(岡山県総社市) 協力団体:NPO法人きよね夢てらす子育て応援こっこ 参加者 11名 3)事業チーム会議(4回) ①4月30日(岐阜県羽島市)、②6月27日(埼玉県さいたま市)、 ③1月24日(東京都町田市)、④3月28日(岐阜県羽島市)</p> <p>III「ピアサポート力向上支援事業」</p> <p>1)「ピアサポーター養成講座」11月4日(鹿児島県鹿児島市) 協力団体:社会福祉法人川上福祉会ふじヶ丘保育園子育て支援センターはらっぱ 参加者:13名 2)「地域で支える多胎ピアサポート～リーダー研修会～」2月11日(宮城県仙台市) 協力団体:みやぎ多胎ネット 参加者:7名(託児17名) 3)事業チーム会議(3回) ①8月6日(大阪府大阪市)、②6月27日(埼玉県さいたま市)、 ③1月24日(東京都町田市)</p> <p>IV「全国研修会」</p> <p>1)「第6回全国研修会」2015年6月28日(埼玉県さいたま市) テーマ「子ども・子育て支援新制度がひらく地域子育て支援拠点、利用者支援の可能性」 参加者:53名 2)事業チーム会議(4回) ①3月5日(千葉県千葉市)、②6月7日(埼玉県さいたま市)、 ③6月27日(埼玉県さいたま市)、④1月24日(東京都町田市)</p> <p>「全体会」(2回) ①6月27日(埼玉県さいたま市)、②1月24日(東京都町田市)</p>
---------------	---

<p>5. 事業成果</p>	<p>I「子育て支援者を対象とした多胎家庭支援研修プログラムの実施・普及事業」 今年度は受講対象者を子育て支援拠点の支援者から、ホームスタートやファミリーサポート事業等のあらゆる子育て支援者に広げたことによって、より多様な支援者の参加を促し、地域の支援者のネットワークを広げる機会となった。</p> <p>II「専門職と当事者が連携した多胎ファミリー教室開催支援事業」 昨年から取り組んで来た「運営講座を経て、ファミリー教室を実施する」という事業を実際に行うことができることが証明された。保健師、助産師、子育て支援者、当事者という、地域で支援の核となる者が揃って妊娠期の多胎家庭と出会うことは、妊娠期からの切れ目のない支援の体制のベースづくりに役立った。また、今回の教室に関わった支援者の尽力により、隣接する市でも社会福祉協議会などの支援を受けた多胎サークルが誕生したこともうれしい波及効果であった。</p> <p>III「ピアサポート力向上支援事業」 ①「ピアサポーター養成講座」(鹿児島県鹿児島市)では、多胎に関する基礎知識や傾聴のスキルを学ぶ既存のプログラムだけではなく、ピアであるメンバーが次のアクションを起こせるように考えた内容で実施した。その結果、乳児期の過酷な多胎育児を経験した参加者が、次に多胎の親になる人に対して、自分の経験を活かして何かやってみたいというエネルギーを引き出すと共に、今後の見通しを持つことができる会となった。</p> <p>②「地域で支える多胎ピアサポート～リーダー研修会～」(宮城県仙台市)では、昨年発足した「みやぎ多胎ネット」の協力を得て実施した。他の地域で実施する支援メニューの提示などにより、すぐに実践できる具体的な活動と、将来的な夢や方向性が語られた。みやぎ多胎ネット代表の「立ち上げたものの、ずっと港に泊まっていた船がようやく船出した」との言葉が象徴するように、地域の多胎支援力向上に大きく貢献した。</p> <p>IV「全国研修会」 今年度の全国研修会では、新子育て支援制度について学ぶと共に、各地の多胎支援活動の様子や多胎育児家庭の現状を国の施策づくりに関わる関係者に知っていただく機会となった。今後の政策への反映に期待をつなぐような意義ある会となった。</p>
----------------	---

<p>6. 今後の計画</p>	<p>I「子育て支援者を対象とした多胎家庭支援研修プログラムの実施・普及事業」 このプログラムでは、当初から多胎だけではなく多様なニーズの家庭に寄り添う支援を意識してきた。今年度は多胎出産の少ない地域での実施により、サイレントマイノリティーへの支援という切り口を新たに得て、汎用性がより高まったため、今後も適宜柔軟にプログラムを活用しながら、地域の事情に合った内容の研修会を、年に2カ所程度で実施する予定である。</p> <p>II「専門職と当事者が連携した多胎ファミリー教室開催支援事業」 今年度の事業で見えてきた父親支援の視点などについて検討を加え、プログラムの改善を図りながら、引き続き、ファミリー教室の実施の可能性のある地域を選択して、年に1カ所程度で実施していきたい。平成28年度は大阪での実施を予定している。</p> <p>III「ピアサポート力向上支援事業」 来年度は、ピアサポートのスキルを学ぶピアサポーター養成用のテキストとコーディネーター養成講座テキストを作成する予定である。それらを用いながら、地域の実情を把握し、診断しながら、ピアサポーターが地域の支援者と連携し、地域の中で活動できる道筋を示していけるような事業を、年に2カ所程度ずつ実施したい。</p> <p>IV「全国研修会」 全国研修会では、多胎家庭支援・子育て支援に関して提供する情報と、各地の支援者との交流により得た情報を、参加者が地元を持ち帰ることでの地域支援力の向上を図っている。特に、開催地の当事者や支援者がエンパワーメントされ、それらのメンバーを核とする多胎家庭支援ネットワークが芽生えることを期待し、地域選定を行いつつ、今後も毎年1回実施していきたい。平成28年度は、鹿児島県鹿児島市での実施を予定している。</p>
-----------------	---

平成27年度 会計収支報告書

平成28年4月10日

団体名 一般社団法人日本多胎支援協会



収入の部

	項 目	金 額						備 考
		十 万	万	千	百	十	円	
1	麒麟福祉財団助成金	1	0	0	0	0	0	
2	自己資金			5	4	7	13	
3	資料代			1	5	0	0	全国研修会 @500×30人
4	寄付金			4	3	0	0	
5								
6								
	(A) 合 計	1	1	1	2	7	13	

支出の部

	項 目	金 額						備 考	
		十 万	万	千	百	十	円		
1	謝 金(講師料など)	1	3	7	9	5	9	外部講師謝金33,411×1、22,274×1、11,137×2、外部委員会議出席5,000×12	
2	旅 費・交 通 費	6	5	4	5	7	6	交通費569,076円、宿泊費85,500円	
3	消 耗 品 費			2	0	9	6	7	プリンターインク7,884円、リフィル398円、封筒3,900円、ラベルシール1,980円、コピー用紙3,760円、クリホルダー3,045円
4	制 作 費			2	6	4	2	6	全国研修会案内3,050円、同当日資料19,656円、
5	通 信 費			5	6	3	6	4	DM便82*600通、宅配便3,364円、レターパック360*6、切手代82*20
6	会 場 費			6	1	7	6	0	全国研修会24,200円、全体会(町田)21,000円、チーム会議1,500円、ピアサポーター養成講座2,000円、 レター-研修会13,060円
7	託 児 費			2	9	0	0	0	1/15 9,000円、2/11 20,000円
8	保 険 料				1	0	5	0	2/11 1,050円
9	賃 金			5	6	0	0	0	5協力団体5人分 のべ1,000×56h
10	雑 費			6	8	6	1	1	支払手数料216円×12、会議費弁当代73個分60,640円、飲み物代4カ所分5,379円
	(B) 合 計	1	1	1	2	7	13		